

中国脅威論は、軍事的緊張と戦争の危機を作りだすだけです

南シナ海に自衛隊派遣を検討！

19日の日米首脳会談で、安倍首相はオバマ大統領に、南シナ海への自衛隊派遣を検討すると伝えました。この間、アメリカは、中国が主張する領海内にイージス艦を派遣して中国を挑発しています。安倍首相はこれを全面的に支持し、安保法制をもってアジア全域に日米同盟による軍事展開を拡大しています。

挑発の応酬では解決できない

中国による、一方的な南沙諸島埋め立てや、尖閣諸島（中国名は釣魚群島、台湾名は釣魚台列嶼）での挑発行為が報道されています。しかし、日中関係が冷え込んだのは、石原元都知事による魚釣島（中国名は釣魚島）等の都購入計画が発端です。その後、

両国による挑発がエスカレートしたのです。

安倍首相が中国脅威論を叫ぶのは、危機をあおることで、憲法9条「戦争放棄」を変え、自衛隊を国防軍にするためです。まさに、戦争のできる国づくりを狙っているのです。

安保法制施行で南シナ海の軍事行動が可能に

法案審議中のときは、安倍総理は「安保法案は平和のためである」と言い続けました。しかし、成立するや、米国の戦争に協力すると言い始めたのです。

現行の日米安保体制では、日本の領土・領海と関係のない南シナ海で軍事行動を行うことはできません。しかし、来春に安保法制が施行されると、米軍の後方支援や米艦の防護などの軍事行動ができるようになります。

■こんな活動をしています～誰でも参加できます～

アベNO! 府中～安倍政権のここにNO～を毎月開催



自転車で街をまわり、「アベNO!」



ギターを使って、歌で「アベNO!」



紙芝居で、「アベNO!」



安倍政権の是非を問うシール投票

2015年5月から、毎月1回、「アベNO! 府中」を実施しています。主催者は、普段はさまざまな活動をしている、市内のグループや個人です。シール投票をやったり、歩行者にも発言してもらったりと、一方的な宣伝ではない参加型イベントなので、見かけたら気軽に声をかけてください。

安倍政権反対の声をあげています

安倍政権に反対するパフォーマンスを随時実施しています。スケジュールはブログかツイッターで(右参照)。



安倍首相が退陣するまで

職場でも学園でも、そしてご近所づきあいでも、津々浦々で安倍政権に反対の声を上げましょう。

blog <http://abeno.fuchu-group.org>

Twitter @abeno_fuchu 

活動はまだまだつづきます